

令和元年度（2019 年度）第 2 回 熊本市教育の情報化検討委員会

日時 令和元年（2019 年）12 月 12 日（木） 13 時から 15 時まで

場所 熊本市教育センター 3 階第一研修室

次 第

1 開会

2 挨拶

3 議事

- (1) タブレット端末を活用した実践事例報告（城東小学校、北部中学校）
- (2) 子どもの変容及び授業分析について
- (3) タブレット端末を活用した授業改善実践発表会について
- (4) 第 3 回熊本市教育の情報化検討委員会の内容について

4 閉会

ONE TEAMで挑む 城東小のタブレット活用

熊本市立城東小学校

情報教育担当 柴田 祥



公立学校レベルの実践を重ね、
その成果を全市に広げていくこと

使いやすい環境の整備

校務への有効活用

効果的な活用と情報の共有

使いやすい環境の整備

使いやすい環境の整備

熊本市立城東小学校におけるタブレット端末使用規程

- 第 1 条 この規程は、熊本市立城東小学校のタブレット端末の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。
- 第 2 条 タブレット端末は、学校の教育課程に則った学習の質、効果の向上及び学習内容の定着、及び校務の効率化に資することを目的として使用する。
- 第 3 条 管理責任者は校長とする。管理責任者は、タブレット端末 (iPad) の使用が適正に行われるために、使用状況を把握し、必要に応じて指導及び助言を行う。
- 第 4 条 タブレット端末使用者 (以下、「使用者」という。) は、学校に在籍する教職員及び児童のみとする。
- 第 5 条 使用者は、タブレット端末の使用を適正に行うとともに、携帯中の毀損、紛失、盗難等の防止に十分注意しなければならない。
- 第 6 条 使用者は、タブレット端末の使用後、使用する際に作成されたデータを削除する。ただし、必要がある場合は、一定の間、タブレット端末に保存しておいてもよい。
- 第 7 条 使用者が児童であった場合、使用にあたってのタブレット端末の管理については、授業担当者又は担任が、適正に行うものとする。
- 第 8 条 タブレット端末を校外に持ち出す場合には、使用者は管理責任者の許可を得なければならない。また、その際には、すみやかに目的地に運ぶこととし、車内等に放置するようなことは絶対に行ってはならない。
- 第 9 条 タブレット端末の利用は自己責任を原則とし、その利用によって生じた費用及び損害は使用者が負わなければならない。ただし、校内で通常の使用をしている状況で生じた故障は除く。
- 第 10 条 タブレット端末の適正な使用のため、不正アクセス行為の禁止等に関する法律(平成 11 年 8 月 13 日法律第 128 号)、著作権法(昭和 45 年 5 月 6 日法律第 48 号)、個人情報の保護に関する法律(平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号)等の情報セキュリティ及び知的財産の保護に関する法令及び熊本市個人情報保護条例(平成 13 年 9 月 21 日条例第 43 号)を遵守しなければならない。
- 第 11 条 次の各号に掲げる事項については、これを禁止する。
- (1) 第 2 条の目的以外の利用
 - (2) 信頼できる Wi-Fi 以外への接続
 - (3) ID、パスワードの変更及び漏洩
 - (4) 個人的なメールアドレス、クラウド用アカウント等の使用
 - (5) 個人のクレジットカード情報や iTunes 情報等、個人情報の入力
 - (6) 利用が許可されていないファイルへのアクセス

ルール(使用規定)の策定



使用する際の拠り所

【資料 1】

使いやすい環境の整備

「タブレット」を使うときのルール ～タブレットの先には『人』がいます～

城東小学校のみんなが勉強するために、熊本市が貸し出しているタブレットです。6年生まで使いますので、約束をしっかりと守って大切に使いましょう。

1. 次に使う人のために

《準備》

- タブレットを使う前に手を洗い、しっかりふきます。
- 充電庫から取り出すときは、電源ケーブルを無理に引っ張りません。
- タブレットは落とさないようケースの持ち手を持って運びます。

《使い方》

- 先生からタブレットを受け取ったら、借りた人は返すまで責任を持って使います。
げたばこなどに置きっぱなしにしません。
- 画面はガラスでできています。タブレットの上に、物を置きません。画面をペンで押したり、爪でこすったりしません。ていねいにやさしく使います。
- 落ちそうなところやふまれそうな場所、熱いものや磁石のそば、水などでぬれそうな場所に置きません。

子どもたちが使うときに
必要なルールの策定



城東のスタンダード
全員が同じ基準で指導

【資料2】

使いやすい環境の整備

「タブレット」を持ち帰るときのルール

城東小学校のみんなが学習するために、熊本市が貸し出しているタブレットです。6年生まで使いますので、約束をしっかりと守って大切に使いましょう。

1. 持ち帰るときには

- 先生から指示された番号のタブレットを持ち帰ります。受け取ったら、借りた人は返すまで責任を持って使います。
- 必ず持ち帰り用バッグ（図書バッグなど）に入れ、家まで大切に持ち帰ります。
- タブレットは水に弱いので、雨の日には濡らさないように気を付けます。

2. 家で使うときには

- タブレットの上に物を置けません。また、落ちそうなところやふまれそうな場所、熱いものや磁石のそば、水などでぬれそうな場所に置けません。ていねいにやさしく使います。
- 先生に言われたアプリ以外は使いません。
- タブレットは、借りた人が学習するため使います。家族に貸したり、学習以外の目的に使ったりしません。
- 家のインターネット（無線LAN・Wi-Fi）につなぎません。

子どもたちが使うときに
必要なルールの策定



城東のスタンダード
全員が同じ基準で指導

【資料3】

使いやすい環境の整備

タブレット持ち帰り チェックシート

タブレットを持ち帰る時は、「持ち帰り前」「学校で返す時」に必ずチェックしましょう。

持ち帰る前に確認すること	
1	先生に指示された番号のタブレットとチェックシートを受け取る
2	「持ち帰るときのルール」を確認する (ルールはこの紙の裏に書いてあります)
3	バッテリー残量が40%以上残っているか確認する
4	アプリを終わらせているか確認する
5	カメラロールに写真や動画データが残っていないか確認する
6	タブレットとチェックシートを持ち帰り用バッグ(図書バッグ等)に入れ、雨に濡れたり傷つけたりしないように持ち帰る

学校で返す前に確認すること	
1	【となりの席の人やグループの人とタブレットを交換して】

子どもたちが使うときに
必要なルールの策定



城東のスタンダード
全員が同じ基準で指導

【資料4】

使いやすい環境の整備



職員1人1人に
活用する上で必要な
ものをセットにして配付



いつでも使える状況
全員が同じものを使う
備品類の管理を確実に

使いやすい環境の整備



紛失時に備えて
管理番号を独自に付与



収納庫ごとの管理が容易
収納時間の短縮
紛失時の対応の迅速化

使いやすい環境の整備



収納庫のカギを
職員室一括管理から
キーボックス管理に変更



授業準備時間の短縮

使いやすい環境の整備

iPad利用割り当て 6月10日～

記入の仕方 優先: わくわく 3 6-1タブ40台3Fから +キーボード 40台 5-1タブ15台2Fから +ペン30本 ※あくまで優先枠なので、使用する場合は必要事項を記入する 使用する学級名・使用機材名・使用台数・持ち出し場所を書く	iPad関係機材の収納場所 iPad…3階（社会科資料室）に40台 2階（会議室）に21台 キーボード…3階（社会科資料室）に40台 1階（印刷室奥）に2台 操作ペン…3階（社会科資料室）に40本
---	--

	月 10	火 11	水 12	木 13	金 14
始業前					
朝の活動					
1	優先: 6-1 4-1 32台+ペン32 3Fより	優先: 4-1 32台 3Fより	優先: 3-1 1-1 2F(11)	優先: 2-1 6-1 希望	優先: 5-1
2	優先: 1-2 3-1 27台 (3F)	優先: 3-1	優先: 2-1 6-1 希望	優先: 1-2	優先: 3-1
中休み					
3	優先: 3-1 5-1 37台 (3F) 全台片付けを!!	優先: 5-1	優先: 4-1	優先: 4-1	優先: 1-1
4	優先: 1-1	優先: 5-1	優先: 6-1 1-1 (2F) 11台	優先: 1-1 3F (4) 2F (2)	優先: 1-2 3F (3) 2F (21)

利用割り当てを
タブレット上で管理



どこでだれが使っているか
残り台数の把握が容易

使いやすい環境の整備

12月タブレット管理 - 読み取り専用 - Excel																										
appleTV利用予約																										
	12月2日(月曜)				12月3日(火曜)				12月4日(水曜)				12月5日(木曜)				12月6日(金曜)									
	使用学級	持出場所	持出台数	残台数	使用学級	持出場所	持出台数	残台数	使用学級	持出場所	持出台数	残台数	使用学級	持出場所	持出台数	残台数	使用学級	持出場所	持出台数	残台数						
2 時間目	優先使用: 3年1組				優先使用: 3年1組				優先使用: 2年1組				優先使用: 1年2組				優先使用: 3年1組									
	appleTV利用予約		なし		appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約									
	5年1組	3階	36		3年1組	3階	25		4年1組	3階	6		1年2組	2階	21		3年1組	3階	25							
	3年1組	2階	21		4年1組	3階	6						3年1組	3階	25											
	3年1組	3階	4	0	なし			21	9				0	32			1年1組	2階	21							
中休み	appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約									
					6年1組	3階	7										1年1組	2階	21							
				21	40			21	33							21	40									
3 時間目	優先使用: 1年2組	使用する			優先使用: 5年1組	使用する			優先使用: 4年1組				優先使用: 4年1組	使用する			優先使用: 1年1組	使用する								
	appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約	1年								
	5年1組	3階	36		4年1組	2階	6						4年1組	3階	30		1年1組	2階	21							
	4年1組	2階	6		5年1組	3階	25						なし				4年1組	3階	30							
	6年1組	2階	15	0	3年1組	3階	15	5	0				2年1組	2階	19	2										
4 時間目	優先使用: 1年1組	使用する			優先使用: 5年1組	使用する			優先使用: 6年1組	使用する			優先使用: 1年1組	使用する			優先使用: 1年2組									
	appleTV利用予約	1年1組			appleTV利用予約				appleTV利用予約				appleTV利用予約	1年1組			appleTV利用予約									
	1年1組	2階	21		5年1組	3階	25		6年1組	3階	16		1年1組	2階	21		なし									
	1年1組	3階	2										4年1組	3階	30		3年1組	3階	4							
	4年1組	3階	6	0				21	15							0	10	1年2組	2階	21						

1か月単位での管理に
情報入力を選択式に
月次変更を選択式に変更



見通しを持った指導と
担当者異動後の同システム
継続利用を可能に

校務への有効活用

校務への有効活用

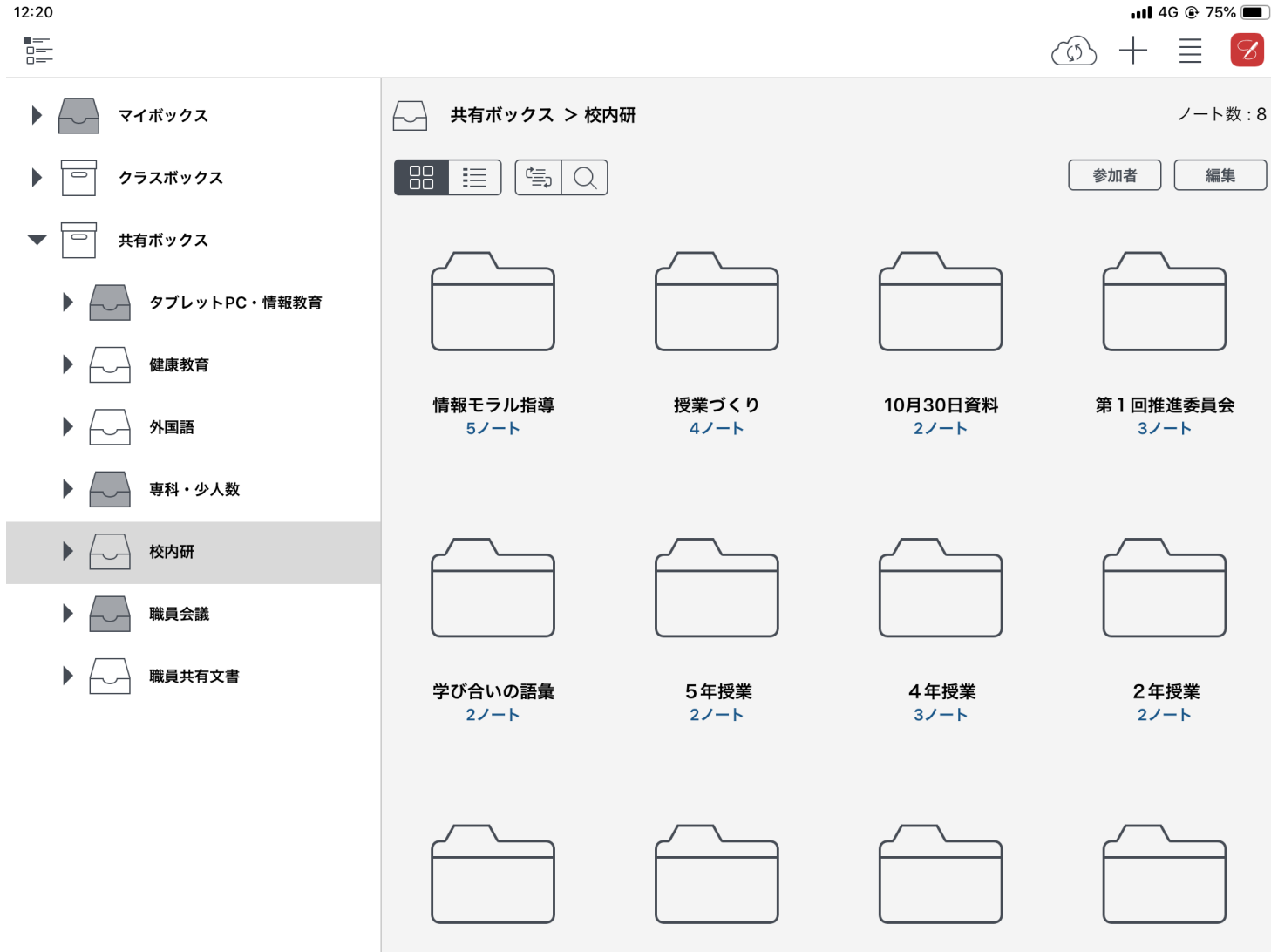


校内研修の実施
(ミニ研修・拡大研修・
井戸端研修)



タブレットPCの基本的な
使い方の理解
誰かに聞けば使えるように
なる雰囲気づくり

校務への有効活用



ペーパーレス化



予算の削減
文書管理が容易
様々な時間の短縮



タブレットPC導入の
意義を理解

校務への有効活用

	今月 (10月)	来月 (11月)	アイデア募集
健康・生活 目標	姿勢に気をつけて	力を合わせてがんばろう	問いかけの言葉 共感・納得の言葉
学び合いの 文化	問いかけ・同意の言葉	質問の言葉	・あ、なるほど。 ・ああ、そうか。 ・確かに～だよ。 ・その考え、いいね。 ・そう考えるといいのか。 ・納得! ・おー、その考えびっくり。
校務			～だよ。 ～だよ。 ～だよ。 ～じゃない。 ～と思うな。 ～と思うけど、どう? ～さんはどう?
行事	10/11(金) 就学時健康診断 10/27(日) 音楽会	11/6(水) 水俣見学旅行 11/12(水) 2年見学旅行 11/21(木) 城東子集会 11/28(木) 3年見学旅行	
ホームページ	学年 1年 6年 見学旅行 修学旅行 部活動 委員会 図書 行事 音楽会 坪井川清掃 研究 授業研 部活動予定 11月分	学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 見学旅行 5年水俣 3年 低学年 部活動 委員会 生活 行事 部活動予定 12月分	
研究 健康	10/8(金) 単元決定 10月中に構想を。 10/21(月) 1年生大研 10/15.16 保健委員会 姿勢指導	11月中に指導案作成 11/27(水) すやが集会	
その他			

画像の撮影・原稿起こし
(メッセージで担当者へ)



担当者の編集を省力化



職員全員が関わる
学校ホームページ

効果的な活用と情報の共有

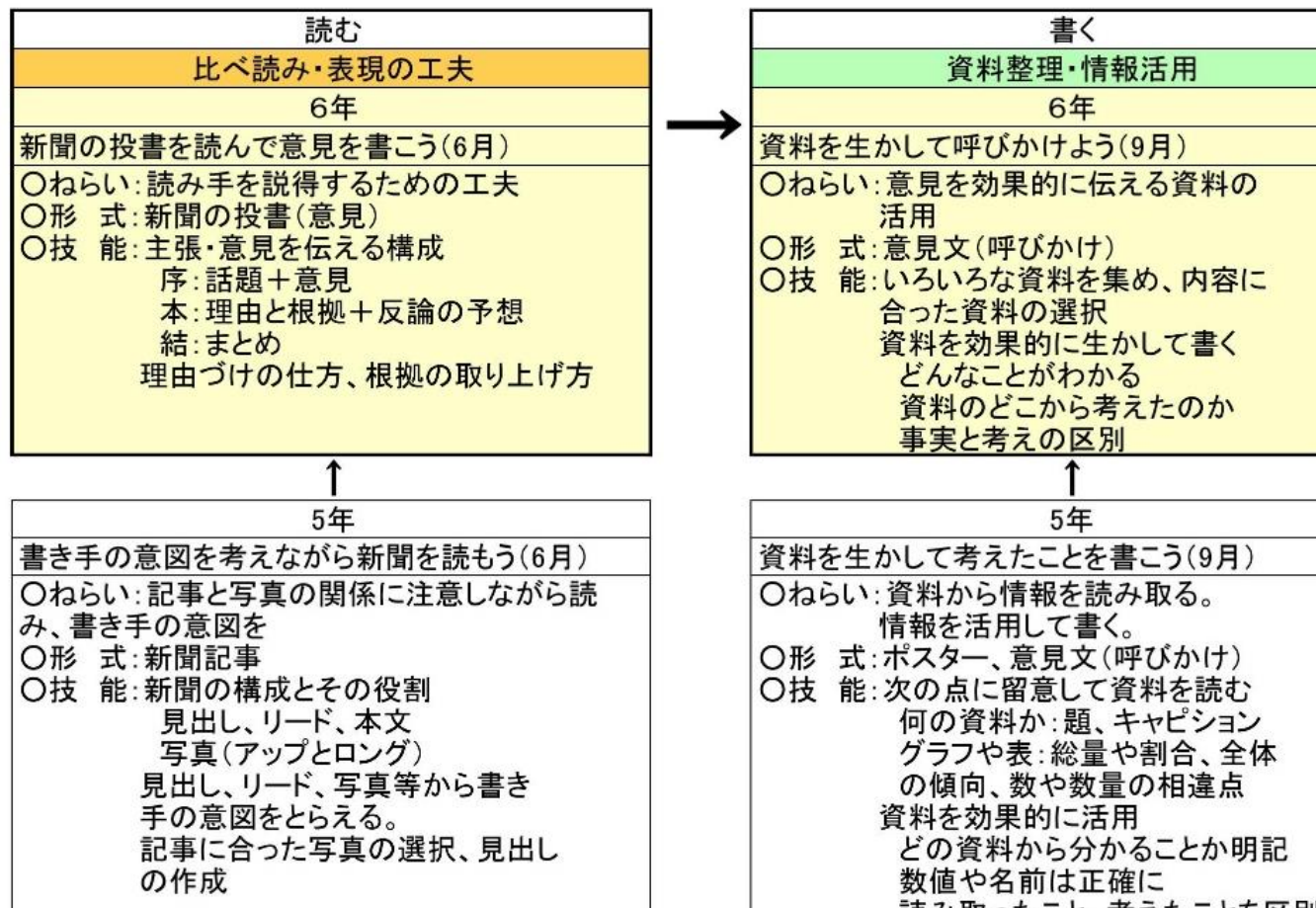
城東小学校の合言葉

1人1台ではなく
2人に2台と呼ぼう

学びあいを意識する

効果的な活用と情報の共有

6年 情報活用（説明・報告）の系統



学習で何をねらうのかを
明確化する



「情報活用能力」と
「思考ツール」について
カリキュラムを意識した
指導を展開する

【資料5】

効果的な活用と情報の共有



児童相互で学びあえる
学びの場の確保
(憧れの存在を示す)



子どもたちの学習意欲の
向上につながる

効果的な活用と情報の共有

タブレットPC活用履歴 【国語】

2019年4月～7月

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	【時期】 7月 【単元】 漢字、言語 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 自習 【操作】 基本的な操作 【備考】 習熟を図った 【時期】 7月 【単元】 ふるしきはどんなぬの 【アプリ】 metamoji 【活用場面】 話し合い 【操作】 書く 【備考】 本とカードの共通点（青）と相違点（赤）について話し合った	【時期】 6月 【単元】 全般 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 ドリル学習 【操作】 基本的な操作 【時期】 7月 【単元】 調べて書く 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 話し合い、発表 観察、記録、整理 【操作】 カード操作、基本的な操作、撮影（画像）、書く 【備考】 話し合うための、タブレット+αの手立てが必要であった	【時期】 6月 【単元】 案内係になろう 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 ドリル学習 【操作】 撮影（動画） 【備考】 評価時に見直すことができた	【時期】 7月 【単元】 漢字の練習をしよう 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 ドリル学習 【操作】 書く 【備考】 漢字の書き取り練習なかなかうまく書けずに、書くことが苦手な児童が早々に断念した	【時期】 6月 【単元】 新聞の投書を書こう 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 思考 【操作】 カード操作 【シンキングツール】 ピラミッドチャート 【備考】 主張・根拠・理由づけがつながるように、カードにして並び替えた 【時期】 6月 【単元】 詩 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 思考 【操作】 文字入力 【備考】 詩の書き方を示した

タブレットPC活用履歴 【算数】

2019年4月～7月

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
【時期】 5月 【単元】 たし算・ひき算 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 習熟 【操作】 基本的な操作 【備考】 意欲的に問題に取り組む姿が見られた 【時期】 7月 【単元】 ひき算 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 思考 【操作】 基本的な操作 【備考】 みんなの立式の様子を確認できた	【時期】 6月 【単元】 筆算 1 【アプリ】 metamoji 【活用場面】 思考 【操作】 書く 【備考】 計算の仕方を確認した 【時期】 7月 【単元】 計算 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 自習 【操作】 基本的な操作 【備考】 習熟を図った	【時期】 7月 【単元】 計算 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 ドリル学習 【操作】 基本的な操作	【時期】 6月 【単元】 一億をこえる数 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 話し合い 【操作】 書く 【備考】 0～9までの数字を使って、多くの数を考え、一度に発表することができた 【時期】 6月 【単元】 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 ドリル学習 【操作】 文字入力 【備考】 それぞれの習熟に応じて、学習を進めることができた	【時期】 6月 【単元】 小数×小数 【アプリ】 ドリルパーク 【活用場面】 ドリル学習 【操作】 基本的な操作 【備考】 小数×小数のまとめ児童は練習問題に意欲的に取り組んだ	【時期】 6月 【単元】 分数×分数 分数÷分数 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 説明 【操作】 書く 【備考】 教科書の図をカードにして、課題解決を図り、互いに説明し合った

活用の履歴を
1か月ごとに集約



次年度の指導に生かす
系統的な指導につなげる



カリキュラムマネジメント

【資料6】

効果的な活用と情報の共有

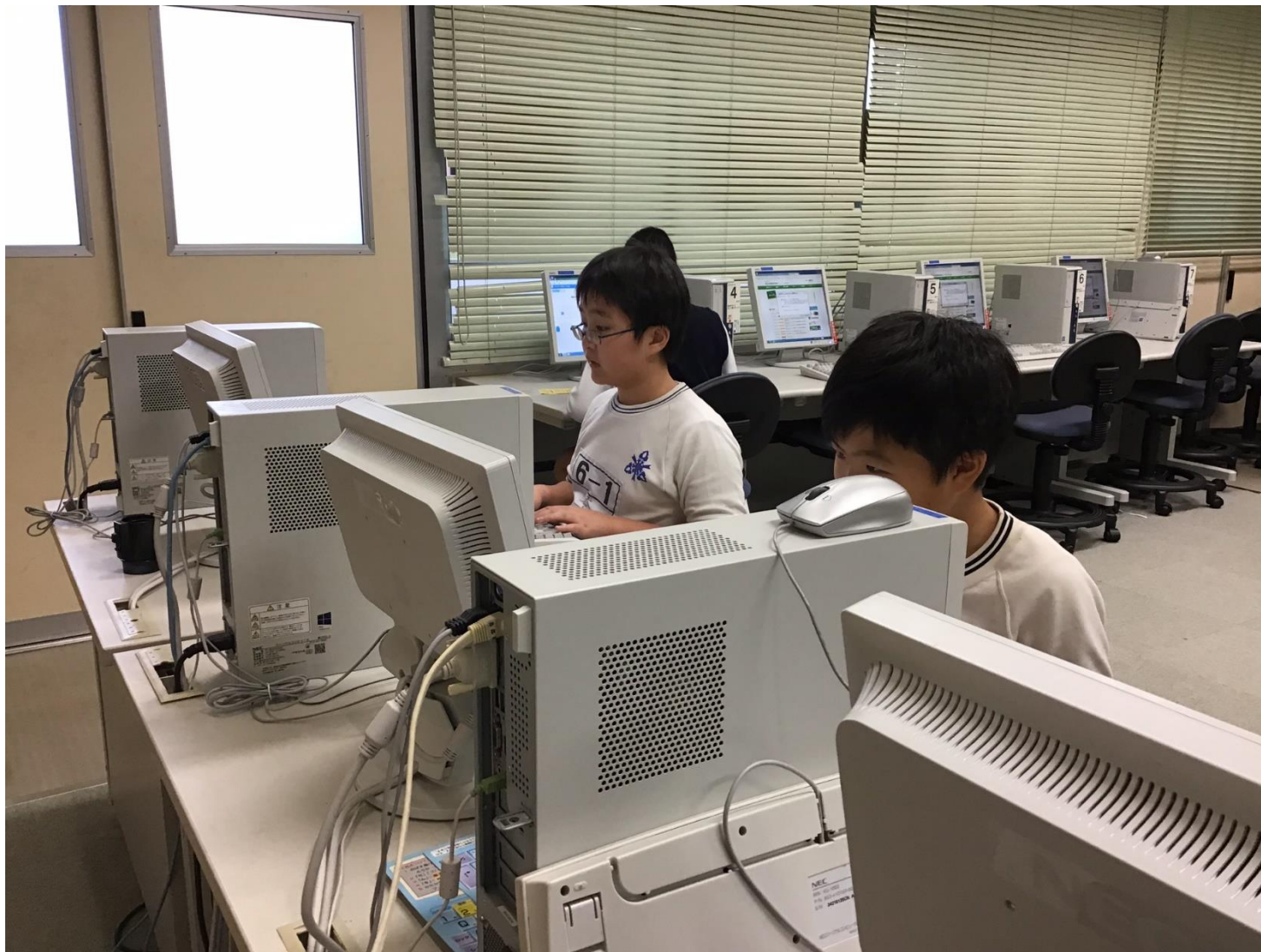


研修の復講
(情報教育担当者研修)
(15年経験者研修)



担当者の学びを
全職員の学びするための
時間の確保

効果的な活用と情報の共有



タイピングコンテストの開催



ローマ字入力に対する
意欲の向上
入力技能の向上

入力文字数(字/毎分)

エントリー時	8.7字
コンテスト時	36.8字

参加児童の平均

効果的な活用と情報の共有



保護者への啓発
(学級懇談会)



子どもの学びの
あしあとを知る
学校の取り組みを広げる

保護者同士の交流

効果的な活用と情報の共有

保護者のみなさまへ

タブレット端末(iPad)を活用した授業

熊本市では、2018年9月に、市内の全公立小中学校市トップレベルへと押し上げるために、大規模な教育ICTの中心となる内容は、多くの携帯電話が採用しているLTEを3年間で2万3460台を導入し、授業で活用すること。2020年度から全面実施となる新学習指導要領では、ブ・ラーニングの実現に向けた授業改善や、プログラミをらを実現するため、電子黒板や実物投影機・iPadとめいているところです。

このプロジェクトを受けて、城東小学校にも、今年の1員用15台)のiPadが配備されました。その後、教職員した授業を始めました。

1人に対して1台のiPadがある環境で…



たくさんの「愛」が生まれる授業を目指して、城東小では

城東小学校では、これからも電子黒板やiPadを使って、子どもたちが自分で考え、発表し、みんなの意見と比べながら、考えを深める授業を追究していきます。

1人に対して1台のiPadがある環境で…

1人に1台 という意識で活用すると…



たくさんの「愛」が生まれる授業を目指して、城東小では **2人に2台** を合言葉にしています。

2人に2台 という意識で活用すると…



城東小学校では、これからも電子黒板やiPadを使って、子どもたちが自分で考え、発表し、みんなの意見と比べながら、考えを深める授業を追究していきます。

【資料7】

熊本市立城東小学校におけるタブレット端末使用規程

- 第 1 条 この規程は、熊本市立城東小学校のタブレット端末の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。
- 第 2 条 タブレット端末は、学校の教育課程に則った学習の質、効果の向上及び学習内容の定着、及び校務の効率化に資することを目的として使用する。
- 第 3 条 管理責任者は校長とする。管理責任者は、タブレット端末 (iPad) の使用が適正に行われるために、使用状況を把握し、必要に応じて指導及び助言を行う。
- 第 4 条 タブレット端末使用者 (以下、「使用者」という。) は、学校に在籍する教職員及び児童のみとする。
- 第 5 条 使用者は、タブレット端末の使用を適正に行うとともに、携帯中の毀損、紛失、盗難等の防止に十分注意しなければならない。
- 第 6 条 使用者は、タブレット端末の使用後、使用する際に作成されたデータを削除する。ただし、必要がある場合は、一定の間、タブレット端末に保存しておいてもよい。
- 第 7 条 使用者が児童であった場合、使用にあたってのタブレット端末の管理については、授業担当者又は担任が、適正に行うものとする。
- 第 8 条 タブレット端末を校外に持ち出す場合には、使用者は管理責任者の許可を得なければならない。また、その際には、すみやかに目的地に運ぶこととし、車内等に放置するようなことは絶対に行ってはならない。
- 第 9 条 タブレット端末の利用は自己責任を原則とし、その利用によって生じた費用及び損害は使用者が負わなければならない。ただし、校内で通常の使用をしている状況で生じた故障は除く。
- 第 10 条 タブレット端末の適正な使用のため、不正アクセス行為の禁止等に関する法律(平成 11 年 8 月 13 日法律第 128 号)、著作権法(昭和 45 年 5 月 6 日法律第 48 号)、個人情報の保護に関する法律(平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号)等の情報セキュリティ及び知的財産の保護に関する法令及び熊本市個人情報保護条例(平成 13 年 9 月 21 日条例第 43 号)を遵守しなければならない。
- 第 11 条 次の各号に掲げる事項については、これを禁止する。
- (1) 第 2 条の目的以外の利用
 - (2) 信頼できる Wi-Fi 以外への接続
 - (3) ID、パスワードの変更及び漏洩
 - (4) 個人的なメールアドレス、クラウド用アカウント等の使用
 - (5) 個人のクレジットカード情報や iTunes 情報等、個人情報の入力
 - (6) 利用が許可されていないファイルへのアクセス
 - (7) 不当又は児童、生徒によるハードウェア、ソフトウェアの設定変更
 - (8) ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の利用
 - (9) 学習上必要のあるサイト以外の閲覧
 - (10) アプリ内課金
 - (11) JailBreak 等の不正な制限解除
 - (12) その他、情報セキュリティに脅威を及ぼすと判断される事項
- 第 12 条 管理責任者は、前条に規定する禁止行為を行った使用者に対し、改善するよう指導しなければならない。指導後も改善が図られない場合は、タブレット端末の使用を停止する。
- 第 13 条 使用者は、次の各号に掲げる障害・事故等が発生した時は、ただちに管理責任者に報告しなければならない。
- (1) タブレット端末を毀損したとき
 - (2) タブレット端末を紛失したとき
 - (3) 盗難の被害にあったとき、またその可能性があるとき
 - (4) パスワードが第三者に漏洩した可能性があるとき
 - (5) タブレット端末が正常に動作しなくなったとき
 - (6) データの改ざん・抹消、不正使用、無権限者のアクセス、ウイルスの侵入等、又は、それらのおそれのある事実を発見したとき

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

「タブレット」を使うときのルール

～タブレットの先には『人』がいます～

城東小学校のみんなが勉強するために、熊本市が貸し出しているタブレットです。6年生まで使いますので、約束をしっかりと守って大切に使いましょう。

1. 次に使う人のために

《準備》

- ・タブレットを使う前に手を洗い、しっかりふきます。
- ・充電庫から取り出すときは、電源ケーブルを無理に引っ張りません。
- ・タブレットは落とさないようケースの持ち手を持って運びます。

《使い方》

- ・先生からタブレットを受け取ったら、借りた人は返すまで責任を持って使います。
げたばこなどに置きっぱなしにしません。
- ・画面はガラスでできています。タブレットの上に、物を置きません。画面をペンで押したり、爪でこすったりしません。ていねいにやさしく使います。
- ・落ちそうなところやふまれそうな場所、熱いものや磁石のそば、水などでぬれそうな場所に置きません。
- ・画面を操作しながら、歩いたり、走ったりしません。

《片付け》

- ・画面が汚れたときや使い終わって片付けるときには、ハンカチなどで画面をきれいにふきます。水で洗ったり、水につけたりしません。
- ・タブレットを保管庫に戻すときは、決められた番号の場所に戻し、電源ケーブルにしっかりとつながります。
- ・こわれたり、なくしたりしたときは、すぐに先生に知らせます。

《設定》

- ・学校名、名前、番号のシールは、はがしません。
- ・「設定アプリ」はさわりません。
- ・アプリをフォルダにまとめたり、場所をかえたり、かべ紙を変えたりしません。

2. あなたを守るために

- 正しい姿勢で使います。
- 自分のIDとパスワードを確認します。IDやパスワードは人に教えません。
- アプリを使うときには「サインイン」が必要になることがあります。自分の名前でサインインできているかを確認します。
- サインインしたアプリを使い終わったら、必ず「サインアウト」します。
- 先生に言われた時以外は使いません。また、先生に言われたアプリ以外は使いません。
- 頭痛、めまい、気分の悪いときには先生に相談します。
- 学習に関係のないホームページを開いたり、メールやSNSを使用したりしません。

3. 友だちや周囲の人を守るために

- 人のIDやパスワードを使ってなりすましをしたり、データをのぞいたりしません。
- 関係のない写真や動画は記録しません。
- 人の写真を撮るときは、必ず「写真を撮ってもいいですか」と許可を取ります。

タブレットは、先生や友だちとあなたをつなぎます。友だちと話しあって、なかよく使うことが大切です。

平成31年4月25日
くまもと市立城東小学校

「タブレット」を持ち帰るときのルール

城東小学校のみんなが学習するために、熊本市が貸し出しているタブレットです。6年生まで使いますので、約束をしっかりと守って大切に使いましょう。

1. 持ち帰るときには

- 先生から指示された番号のタブレットを持ち帰ります。受け取ったら、借りた人は返すまで責任を持って使います。
- 必ず持ち帰り用バッグ（図書バッグなど）に入れ、家まで大切に持ち帰ります。
- タブレットは水に弱いです。雨の日を持ち帰るときには、濡らさないように気を付けます。

2. 家で使うときには

- タブレットの上に、物を置きません。また、落ちそうなところや濡れそうな場所、熱いものや磁石のそば、水などでぬれそうな場所に置きません。ていねいにやさしく使います。
- 先生に言われたアプリ以外は使いません。
- タブレットは、借りた人が学習するため使います。家族に貸したり、学習以外の目的に使ったりしません。
- 家のインターネット（無線LAN・Wi-Fi）につなぎません。

3. 友だちや周囲の人を守るためには

- もしも、こわれたり、なくしたりしたときは、すぐに学校に電話をして知らせます。
(学校の電話番号：096-356-0759)
- 学習に関係のないホームページを開いたり、メールやSNSを使用したりしません。
- 関係のない写真や動画は記録しません。必要な写真や動画を撮るときは、必ず「写真（動画）を撮ってもいいですか」と許可を取ります。
- 次の日には授業で使いますので、忘れずに学校に持ってきます。

れいわがんねん がつ にち
令和元年9月7日
くまもとしりつじょうとうしょうがっこう
熊本市立城東小学校

も かえ タブレット持ち帰り チェックシート

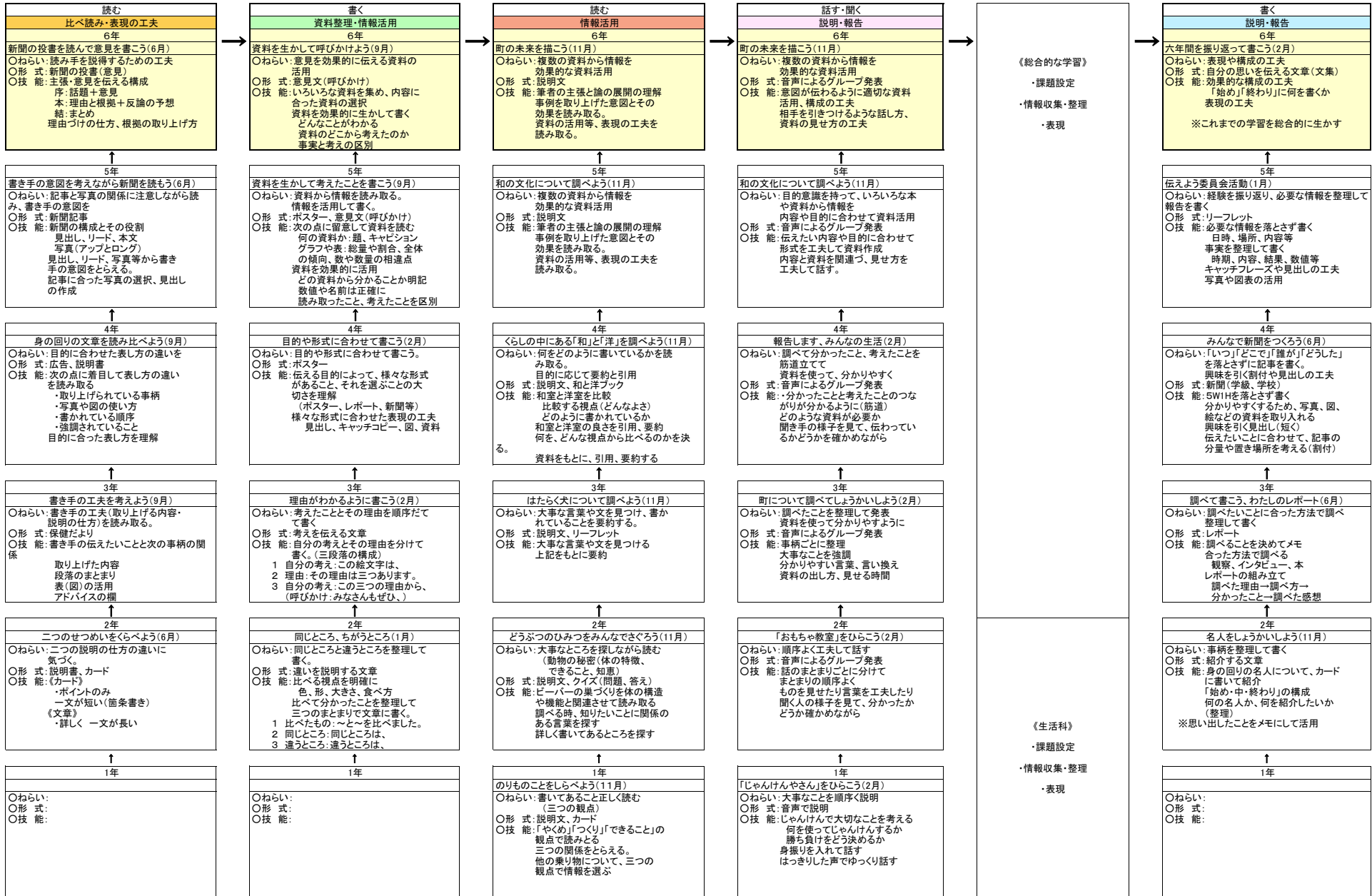
タブレットを持ち帰る時は、「持ち帰り前」「学校で返す時」に
かならず必ずチェックしましょう。

も かえ まえ かくにん 持ち帰る前に確認すること	
1	先生に指示された番号のタブレットとチェックシートを受け取る
2	「持ち帰るときのルール」を確認する (ルールはこの紙の裏に書いてあります)
3	バッテリー残量が40%以上残っているか確認する
4	アプリを終わらせているか確認する
5	カメラロールに写真や動画データが残っていないか確認する
6	タブレットとチェックシートを持ち帰り用バッグ(図書バッグ等)に 入れ、雨に濡れたり傷つけたりしないように持ち帰る

がっこう かえ まえ かくにん 学校で返す前に確認すること	
1	【となりの席の人やグループの人とタブレットを交換して】 カバーや本体の状態(表面の傷や画面のひびの有無)を確認する
2	【となりの席の人やグループの人とタブレットを交換して】 壁紙やパスコードが変えられていないか確認する。
3	【となりの席の人やグループの人とタブレットを交換して】 カメラロールに写真や動画データが残っていないか確認する
4	チェックした結果を担任の先生に知らせ、指示に従って返却する

すべてのチェックは、みんなで使うタブレットをいつまでも大切に使うた
めに必要なものです。一人一人が責任をもって確実にチェックし、少しでも
不安に思うことがあれば、担任の先生に声をかけましょう。

6年 情報活用（説明・報告）の系統（東京書籍）



タブレットPC活用事例集



熊本市立城東小学校

タブレットPC活用履歴 【国語】

2019年4月～7月

1 年

2 年

3 年

4 年

5 年

6 年

【時期】 7月
【単元】 漢字、言語
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 自習
【操作】 基本的な操作
【備考】 習熟を図った

【時期】 7月
【単元】 ふろしきはどんなぬの
【アプリ】 metamoji
【活用場面】 話し合い
【操作】 書く
【備考】 本とカードの共通点（青）と相違点（赤）について話し合った

【時期】 6月
【単元】 全般
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 ドリル学習
【操作】 基本的な操作

【時期】 7月
【単元】 調べて書こう
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 話し合い、発表
観察、記録、整理
【操作】 カード操作、基本的な操作、撮影（画像）、書く
【備考】 話し合うための、タブレット+αの手立てが必要であった

【時期】 6月
【単元】 案内係になろう
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録
【操作】 撮影（動画）
【備考】 評価時に見直すことができた

【時期】 7月
【単元】 漢字の練習をしよう
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 ドリル学習
【操作】 書く
【備考】 漢字の書き取り練習
なかなかうまく書けずに、書くことが苦手の児童が早々に断念した

【時期】 6月
【単元】 新聞の投書を書こう
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 思考
【操作】 カード操作
【シンキングツール】
ピラミッドチャート
【備考】 主張・根拠・理由づけ
がつながるように、カードにして並び替えた

【時期】 6月
【単元】 詩
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 思考
【操作】 文字入力
【備考】 詩の書き方を示した

タブレットPC活用履歴 【算数】

2019年4月～7月

1 年

2 年

3 年

4 年

5 年

6 年

【時期】 5月
【単元】 たし算・ひき算
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 習熟
【操作】 基本的な操作
【備考】 意欲的に問題に取り組む姿が見られた

【時期】 7月
【単元】 ひき算
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 思考
【操作】 基本的な操作
【備考】 みんなの立式の様子を確認できた

【時期】 6月
【単元】 筆算 1
【アプリ】 metamoji
【活用場面】 思考
【操作】 書く
【備考】 計算の仕方を確認した

【時期】 7月
【単元】 計算
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 自習
【操作】 基本的な操作
【備考】 習熟を図った

【時期】 7月
【単元】 計算
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 ドリル学習
【操作】 基本的な操作

【時期】 6月
【単元】 一億をこえる数
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 話し合い
【操作】 書く
【備考】 0～9までの数字を使って、多くの数を考え、一度に発表することができた

【時期】 6月
【単元】
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 ドリル学習
【操作】 文字入力
【備考】 それぞれの習熟に応じて、学習を進めることができた

【時期】 6月
【単元】 小数×小数
【アプリ】 ドリルパーク
【活用場面】 ドリル学習
【操作】 基本的な操作
【備考】 小数×小数のまとめ
児童は練習問題に意欲的に取り組んだ

【時期】 6月
【単元】 分数×分数
分数÷分数
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 説明
【操作】 書く
【備考】 教科書の図をカードにして、課題解決を図り、互いに説明し合った

タブレットPC活用履歴 【社会】

2019年4月～7月

3 年

【時期】 6月
【単元】 わたしたちの熊本市
【アプリ】 metamoji
【活用場面】 観察、製作、話し合い
【操作】 撮影(画像)、基本的な操作
【備考】 校区地図の作成を行った。基本的な操作であるが、技術的に個人差があった。紙地図よりも、作業はスムーズであった

4 年

5 年

【時期】 5月
【単元】 わたしたちのくらしと国土
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 思考
【操作】 書く
【備考】 雨温図と各地方の気候の特徴が書かれている日本地図、季節風の説明の図を児童に提示。資料をじっくり見る学習として有効だった

6 年

【時期】 5月
【単元】 古墳、生活の様子等
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 説明
【操作】 書く
【備考】 カメラで写した写真資料に気づきを記入し、交流し合った

【時期】 5月
【単元】 テレビの視聴
【アプリ】 NHK
【活用場面】 説明
【操作】 カード操作
【備考】 NHK の番組（社会）の視聴

タブレットPC活用履歴 【理科】

2019年4月～7月

3 年

4 年

5 年

6 年

【時期】 6月
【単元】 閉じこめた空気や水
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 整理
【操作】 書く
【備考】

【時期】 7月
【単元】 季節と生き物
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 観察
【操作】 書く
【備考】

タブレットPC活用履歴【生活】

2019年4月～7月

1 年

【時期】 6月 【単元】 あさがおの観察 【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 観察 【操作】 撮影(画像)
【備考】 カメラの使い方を理解でき、練習ができた

【時期】 6月 【単元】 学校探検 【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 発表 【操作】 撮影(画像)
【備考】 先生クイズをつくり、説明するときに使った。意欲が高まった

2 年

【時期】 6月 【単元】 野菜を観察しよう 【アプリ】 カメラ
【活用場面】 記録 【操作】 撮影(画像)
【備考】 タブレット使用の注意を学んだ

タブレットPC活用履歴【家庭】

2019年4月～7月

5 年

【時期】 7月 【単元】 ゆで野菜サラダをつくろう 【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録 【操作】 撮影(動画)
【備考】 半月切りをする友達の様子を動画で撮影。評価は動画でできるので、子どもへの指示や支援がしっかりできる。どこをどのように、どのくらい撮るかの指示が必要だった

【時期】 7月 【単元】 手縫いにチャレンジ 【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 製作 【操作】 基本的な操作
【備考】 玉留め・玉結ぶ・なみ縫い・半返し縫い・ボタン付けの手元の動画を撮り、子どものタブレットに送信。何度も動画を見ることができるので、安心して活動ができていた。教師自身がお手本用の動画を作成したいとき、手元を自分で撮影するためのタブレット用三脚がほしい

6 年

【時期】 6月 【単元】 朝食作り 【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録 【操作】 撮影(動画)
【備考】 調理の様子を記録し、評価に生かした。子ども同士でアドバイスし合うようになった

タブレットPC活用履歴 【図工】

2019年4月～7月

3 年

【時期】 6月
【単元】 鑑賞
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 発表
【操作】 撮影(画像)
【備考】 情報共有とはなったが、練り上げとは
いかなかった

4 年

【時期】 6月
【単元】 リズムにのって
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録
【操作】 撮影(画像)
【備考】 評価時に見直すことができた

5 年

【時期】 5月
【単元】 春を感じて
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録
【操作】 撮影(画像)
【備考】 自分の作った作品にタイトルをつけて
撮影。つくったものをすぐに見合うこ
とができてよかった

【時期】 6月
【単元】 切った粘土の形から
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 製作
【操作】 撮影(画像)
【備考】 粘土で作った立体的な作品を、自分が
紹介したい部分を考えながら撮影し
た。写真を使って発表会をすることで、
作品の細部にまでこだわっていること
がわかる。粘土を長時間展示する必要
がない。保護者にも、作品をじっくり
見てもらうことができた

【時期】 7月
【単元】 糸のこドライブ
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録
【操作】 撮影(画像)
【備考】 出来上がった作品を写真で撮影して、
紹介。友達作品を見ながら感想カー
ドを書いて提出させた。感想カードに
は、友達の画像をコピーして入れるよ
うにしたことで、作品の細部を見て鑑
賞していた

6 年

【時期】 6月
【単元】 運動会の絵
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録
【操作】 撮影(画像)
【備考】 モデルをカメラで撮影し、レイアウト
に生かした

【時期】 7月
【単元】 鑑賞
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 振り返り
【操作】 撮影(画像)
【備考】 友だちの作品をカメラで撮影し、よい
ところについて記入した

タブレットPC活用履歴【総合】

2019年4月～7月

3年

4年

5年

6年

【時期】 6月
【単元】 くまもとタイム
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録
【操作】 撮影(画像)
【備考】 熊本城の写真を児童がそれぞれ撮影することができた

【時期】 6月
【単元】 くまもとタイム
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 製作
【操作】 書く
【備考】 撮影した写真を使い熊本城のポスターを制作することができた

【時期】 6月
【単元】 けんこうタイム
【アプリ】 metamoji
【活用場面】 整理
【操作】 カード操作
【シンキングツール】 **Xチャート**
【備考】 スポーツテストの結果分析シートを見ながら、自分の体力の課題は何かを探させた。シート上で、子どもが自分の氏名カードを動かす。数秒で、学級の実態が明確になった

【時期】 7月
【単元】 けんこうタイム
【アプリ】 metamoji
【活用場面】 計画
【操作】 カード操作
【備考】 子どもから出た課題を整理して、グループピングをした。数分でグループをつくることができた

【時期】 7月
【単元】 けんこうタイム
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 計画
【操作】 書く
【備考】 課題設定のシートを作り、児童に配布して、自分の活動に理由付けをしていく活動。ペンの使い方になれてきた

【時期】 7月
【単元】 けんこうタイム
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 記録
【操作】 文字入力
【シンキングツール】 **フィッシュボーン図**
【備考】 図書・インターネットによる調べ学習。調べたことをわかったことを記録したりまとめたりした。資料を集める際に、出典を記録することを指導していなかった。情報が大量に集まるので、整理しながら進めていく方法を考えていきたい

【時期】 6月
【単元】 城東ルールづくり
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 検索
【操作】 基本的な操作
【備考】 検索できるカードを作成し、インターネット検索が容易にできるようにした

【時期】 7月
【単元】 城東ルール作り
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 発表
【操作】 カード操作
【シンキングツール】 **ピラミッドチャート**
【備考】 プレゼン資料を作成し、発表した

タブレットPC活用履歴 【学活】

2019年4月～7月

1 年

2 年

3 年

4 年

5 年

6 年

【時期】 5月
【単元】 係の仕事を決めよう
【アプリ】 metamoji
【活用場面】 製作
【操作】 書く
【備考】 係りのカードの作成
が一度にできた

【時期】 5月
【単元】 学級目標を考えよう
(タブレットの使い方を
学びながら...)
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 発表
【操作】 カード操作
【備考】 全員が考えているこ
とを、出し合って可
視化した。ただ出す
だけだと、類型化で
きないので、出した
カードを分類してい
く方法を考えたい

タブレットPC活用履歴 【道徳】

2019年4月～7月

1 年

2 年

3 年

4 年

5 年

6 年

【時期】 5月～
【単元】
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 説明
【操作】 カード操作
【備考】 授業で挿絵を見せな
がら、学習を進める
ことができた

【時期】 6月
【単元】 心遣いと思いやり
【アプリ】 ロイロノート
【活用場面】 説明
【操作】 カード操作
【備考】 資料の提示に生かし
ている

タブレットPC活用履歴

【外国語・外国語活動】

2019年4月～7月

3 年	4 年	5 年	6 年
	【時期】 7 月 【単元】 I like Monday 【アプリ】 metamoji 【活用場面】 思考 【操作】 カード操作 【備考】		

タブレットPC活用履歴

【クラブ活動】

2019年4月～7月

地域探検クラブ	【時期】 5 月 【備考】 地域探検クラブの活動計画で、探検したい場所を地図やインターネットで調べた。学年関係なく活動ができた	【アプリ】 マップ	【活用場面】 計画	【操作】 基本的な操作
---------	--	-----------	-----------	-------------

タブレットPC活用履歴

【授業時間外】

2019年4月～7月

席替え	【学年】 6 年 【時期】 7 月 【アプリ】 Keynote 【活用場面】 説明 【操作】 カード操作 【備考】 席替えを付箋に名前を入力して動かすことで製作している
夏祭りダンス	【学年】 高学年 【時期】 7 月 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 説明 【操作】 カード操作 【シンキングツール】 ベン図 【備考】 ダンスのモデルとなる動画を見て練習する
席替え	【学年】 職員 【時期】 6 月 【アプリ】 metamoji 【活用場面】 説明 【操作】 カード操作 【備考】 指導案の提示、単元計画作成等
学級懇談会	【学年】 保護者（5 年） 【時期】 6 月 【アプリ】 ロイロノート 【活用場面】 説明 【操作】 基本的な操作 【備考】 タブレット P C に関する理解・広報を目的として使用。使用方法に関して分からないことがあったときには、保護者間で教え合う姿が見られた。子どもたちの学習成果も確認してもらったのでよかった。

保護者のみなさまへ

タブレット端末(iPad)を活用した授業がスタートしました

熊本市では、2018年9月に、市内の全公立小中学校 134 校の教育 ICT 環境を政令指定都市トップレベルへと押し上げるために、大規模な教育 ICT プロジェクトを始動させました。その中心的内容は、多くの携帯電話が採用している LTE 通信のタブレット端末（以下、iPad）を3年間で2万3460台を導入し、授業で活用することです。

2020年度から全面実施となる新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善や、プログラミング教育の導入が求められており、これらを実現するため、電子黒板や実物投影機・iPadといった学校における ICT 環境整備を進めているところです。

このプロジェクトを受けて、城東小学校にも、今年の1月に合計79台（児童用64台、教職員用15台）のiPadが配備されました。その後、教職員の研修を進め、4月からiPadを活用した授業を始めました。

1人に対して1台のiPadがある環境で…

1人に1台 という意識で活用すると…



2人に2台 という意識で活用すると…



たくさんの  が生まれる授業を目指して、城東小では **2人に2台** を合言葉にしています。

城東小学校では、これからも電子黒板や iPad を使って、子どもたちが自分で考え、発表し、みんなの意見と比べながら、考えを深める授業を追究していきます。

タブレットPC(iPad)体験に関するアンケート

年 組 お名前

●タブレットPCを使ってみた感想を自由にお書きください。

●お子さんは授業でタブレットPCを活用していることについて、
どんな話をしていましたか？

ご協力ありがとうございました。ご記入後は各学級の担任にお渡しください。

なお、ご記入いただいた内容については、個人を特定できないように配慮した上で報告書やホームページ等に掲載することがあります。あらかじめご了承ください。

令和元年度 熊本市教育の情報化検討委員会

人とつながる

社会とつながる

未来とつながる ああ

ESD

熊本市立北部中学校

教諭 真金 竜樹



○地域とともにある学校

○平成29年度
全国緑化コンクール準特選

○平成30・31年度国立教育政策研究所、
熊本市教育委員会教育課程研究「ESD」指定校

持続可能な社会を実現するために「2030年に向けて 世界が合意した17個の開発目標」



17個のSDGs

1 貧困を
なくそう



2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



17個のSDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



17個のSDGs





ノーベル化学賞受賞

吉野 彰 氏

新学習指導要領 改訂の経緯

急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。

ESDとSDGs

Education（教育） for
Sustainable（持続できる）
Development（発達・発展）
『持続可能な開発のための教育』

ESDでつけたい7つの力

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的, 総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりを尊重する態度
- ⑦ 進んで参加する態度

学校生活 (ESD) で育む力



課題発見・課題解決力

Well-being

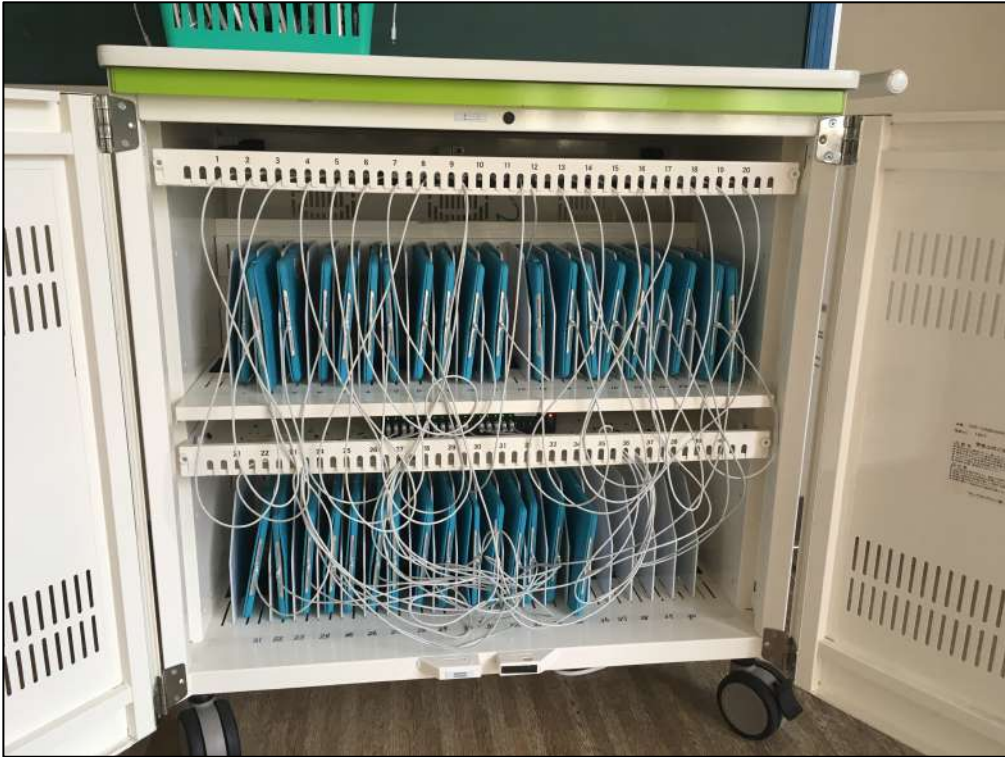
【思考力】

- ①批判的思考力
- ②多面的・総合的思考力
- ③キャリアプランニング力

【姿勢・態度】

- ④コミュニケーション力
- ⑤情報活用能力
- ⑥レジリエンス(柔軟性)
- ⑦シチズンシップ(市民性)

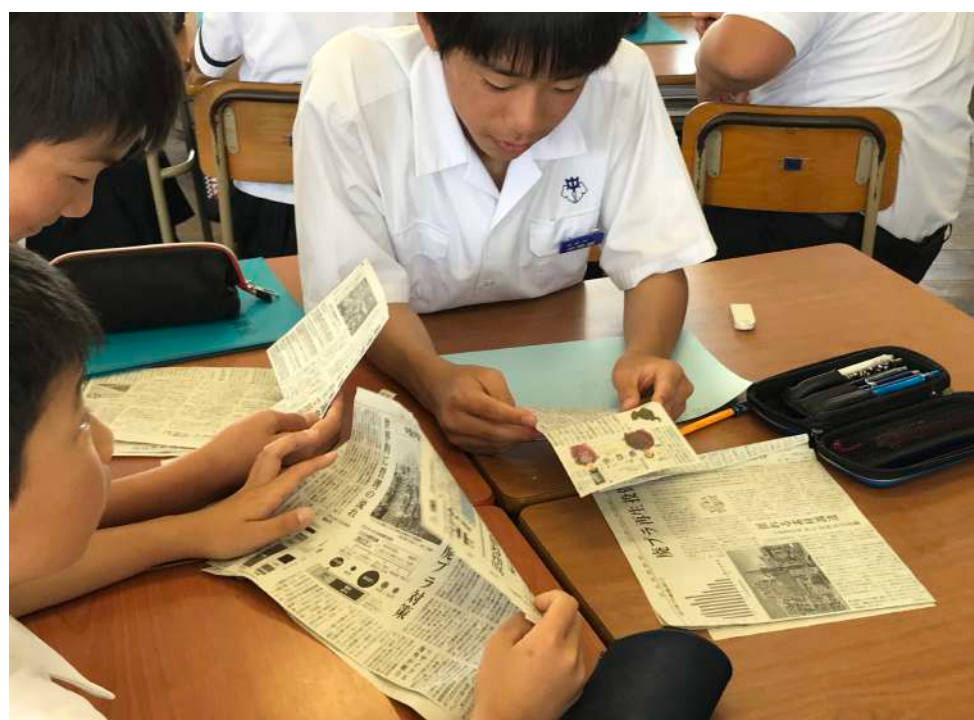
本校のICT機器について

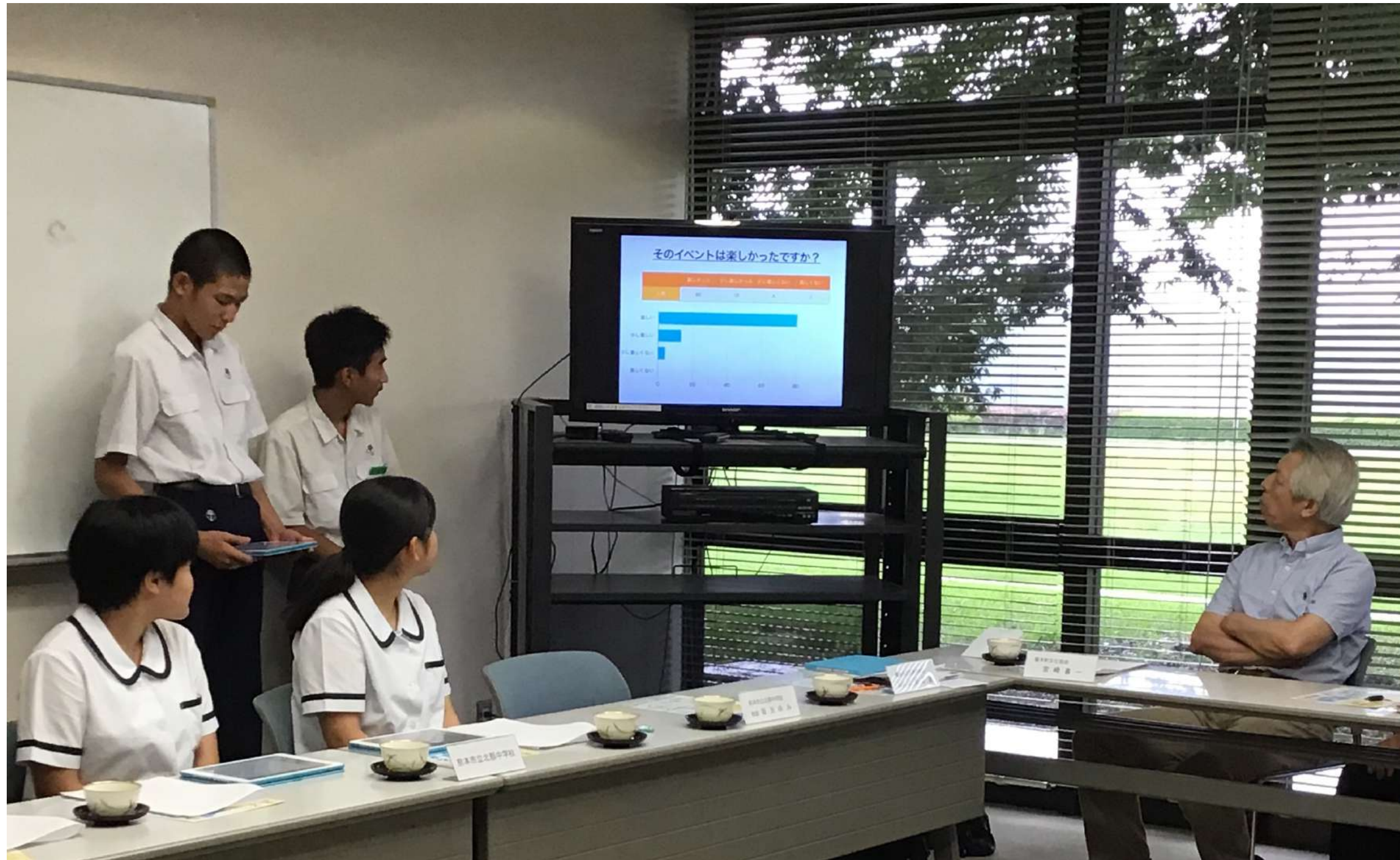


○タブレット 生徒用 218 台、教師用 42 台

○各教室に電子黒板

学習の様子









効果的なICT機器の活用を図った授業実践



【技術・家庭科】

栽培レポートの作成

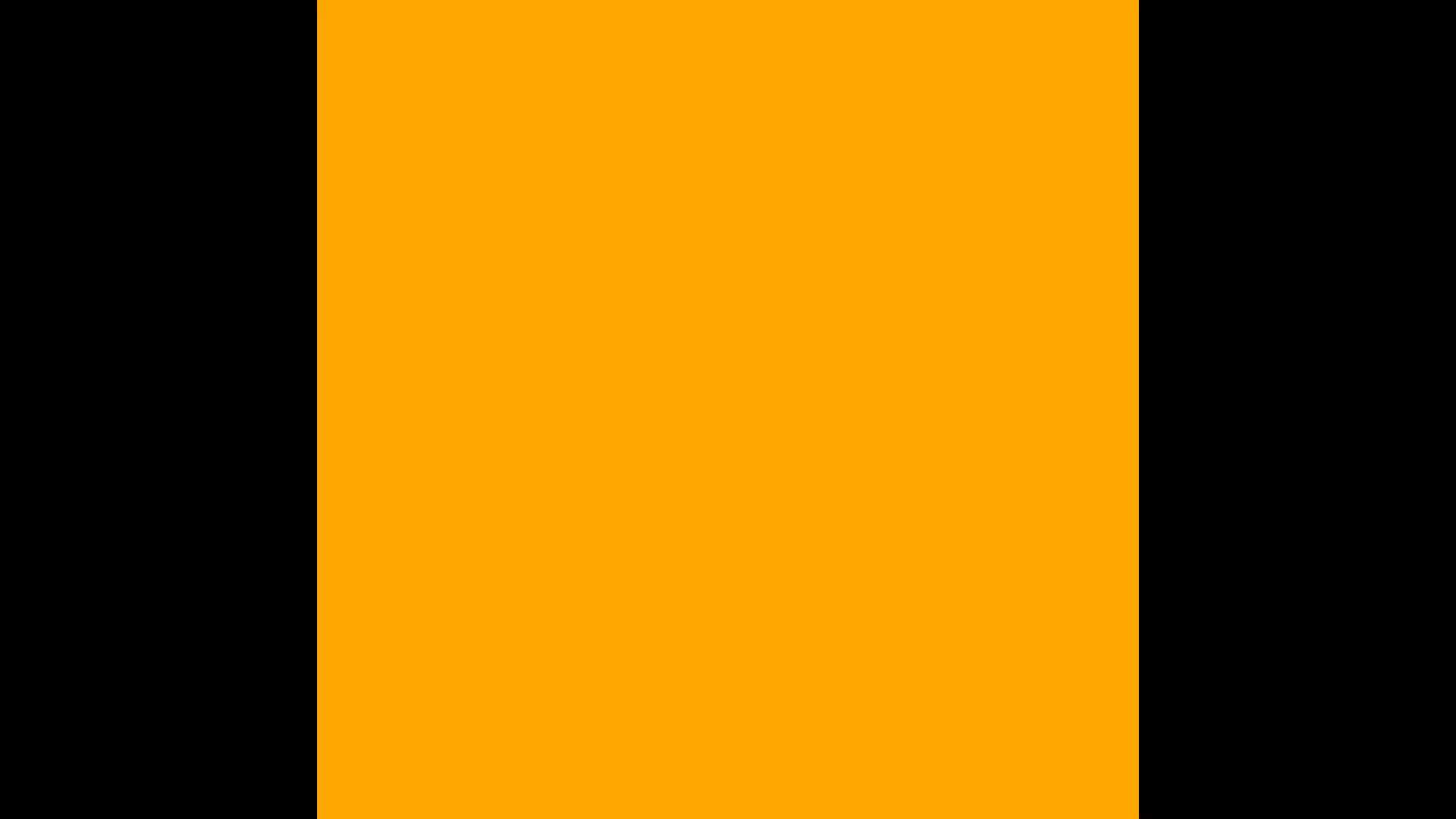
☆キャリアプランニング能力の
育成



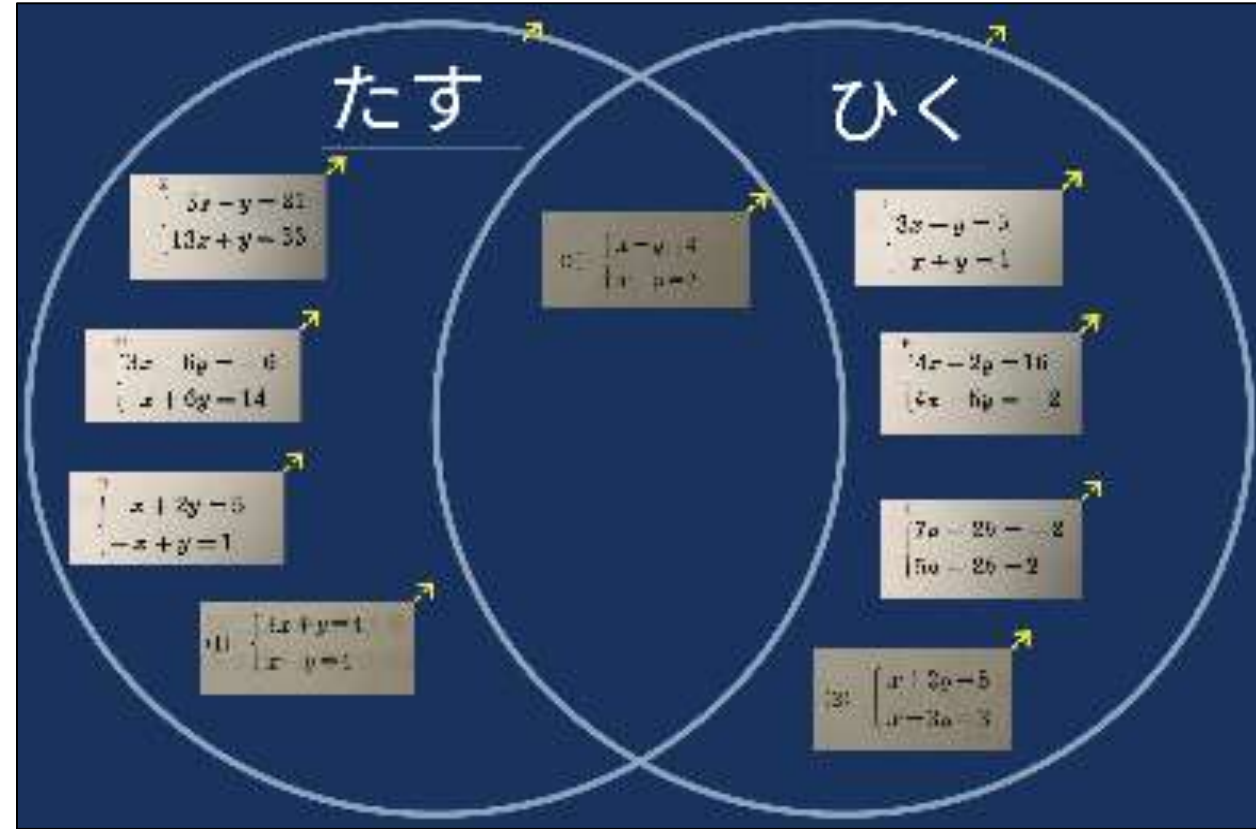
【理科】

実験結果をタブレットで記録、
整理し、説明

☆批判的思考力の育成



効果的なICT機器の活用を図った授業実践



【数学科】 連立方程式の解き方
☆シンキングツールを活用し、
多面的・総合的思考力の育成

効果的なICT機器の活用を図った授業実践



【英語科】 スピーキングテスト

☆プレゼンにタブレットを活用し、

コミュニケーション力の育成

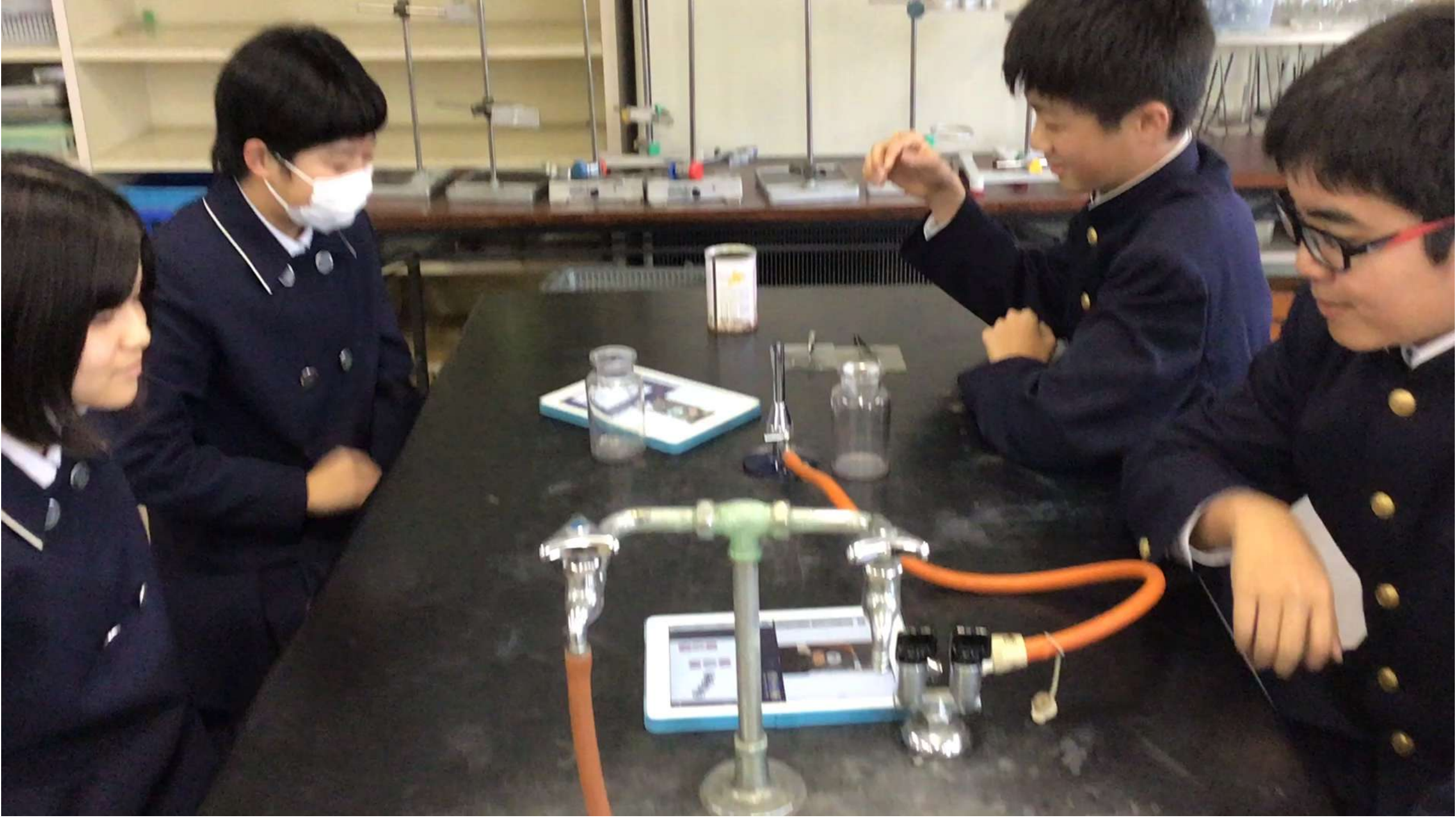
効果的なICT機器の活用を図った授業実践



【社会】

「身近な地域について考える」

帰りの会で新聞記事を使い1分間スピーチ



毎学期ごとに 自己評価シートによる アンケート調査を実施 生徒の変容把握

自己評価シート

年 組 名前(

) 男・女

北部中学校では、さまざまな活動が行われています。これは、みなさんにとってこれからの社会を生き抜くために必要な力や態度を身につけるための活動です。取り組むにあたって、今の自分を振り返ってみましょう。

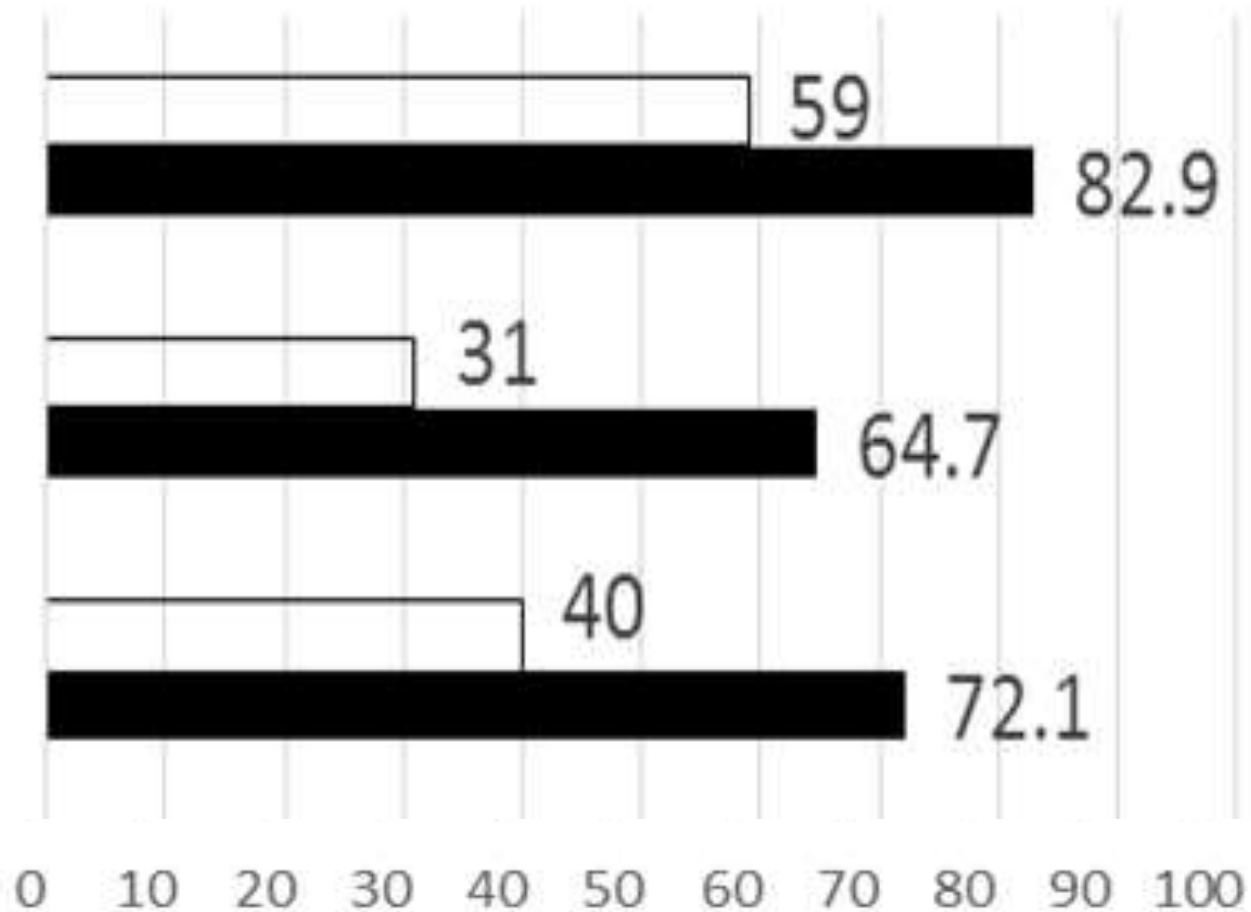
今の自分を、1～5段階で判定してみましょう。		まったくあてはまらない	あてはまる程度	どちらでもない	少しあてはまる	とてもあてはまる
		1	2	3	4	5
評価項目		4月初	1学期末	2学期末	3学期末	
		月 日	月 日	月 日	月 日	
(1)	批判的に考える力					
①	相手の意見を受け止めて自分の考えと比較し、共通点や相違点を考えながら聞くようにしている。					
②	自分の考えを筋道立てて説明できる。					
③	積極的・発展的に考え、より良い解決策を考えている。					
(2)	未来像を予測して計画を立てる力					
④	見通しや目的をもって計画を立てている。					
⑤	他の人にわかりやすく説明できるような計画を立てている。					
(3)	多面的、総合的に考える力					
⑥	ものごとをメリット・デメリットの両面から考えることができる。					
⑦	身の回りの出来事を様々な側面や立場から考えている。					
⑧	様々なものごとを、つながりがないか関連付けて考えている。					
(4)	コミュニケーションを行う力					
⑨	自分の考えをまとめてわかりやすく伝えることができている。					
⑩	自分の考えに、他の人の意見を取り入れることができている。					
(5)	他者と協力する態度					
⑪	相手の立場を考えて行動できる。					
⑫	仲間と励まし合いながら、チームとして活動することができる。					
(6)	つながりを尊重する態度					
⑬	自分が様々なこととつながっているということに関心をもつことができる。					
⑭	いろいろなものや人のおかげで自分がいることを実感している。					
(7)	進んで参加する態度					
⑮	自分が言ったことやしたこと責任をもち、約束を守ることができている。					
⑯	進んで人のために行動することができている。					
(8)	地域や社会のことを考える態度					
⑰	地域のことにすすんで参加している。					
⑱	社会がどのようになるといいかいろいろと考えている。					

成果（生徒アンケート結果より）

相手の意見を受け止めて自分の考えと比較し、共通点や相違点を考えながら聞く

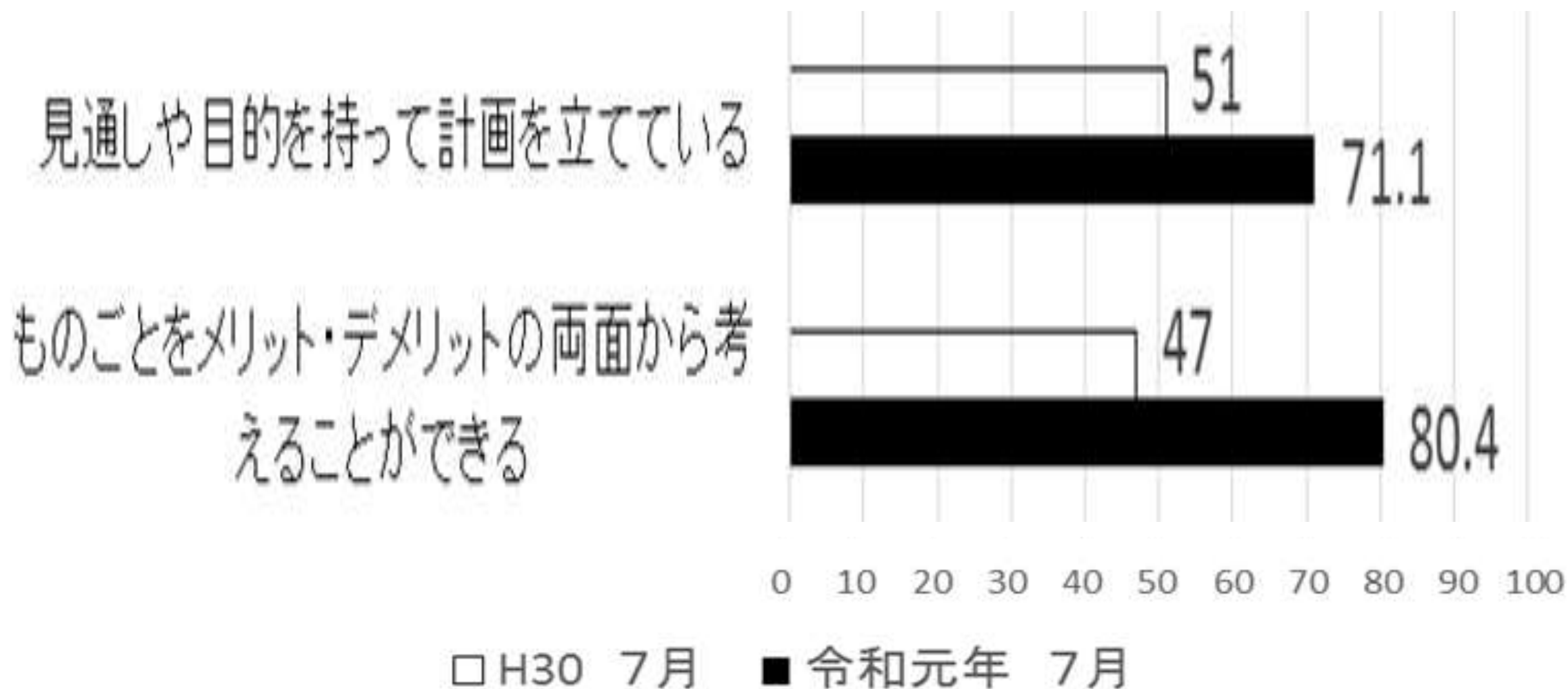
自分の考えを筋道立てて説明できる

積極的発展的に考え、よりよい解決策を考えている

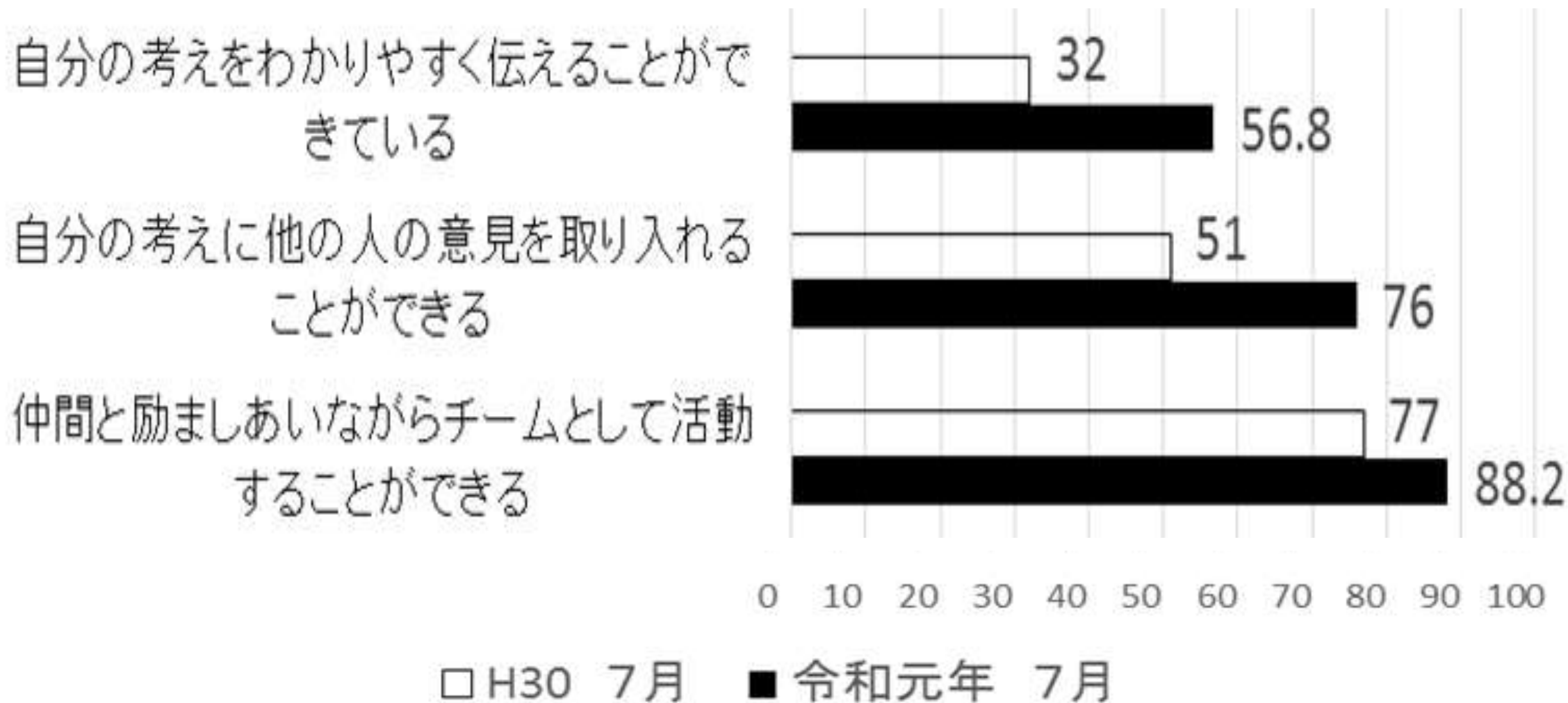


□ H30 7月 ■ 令和元年 7月

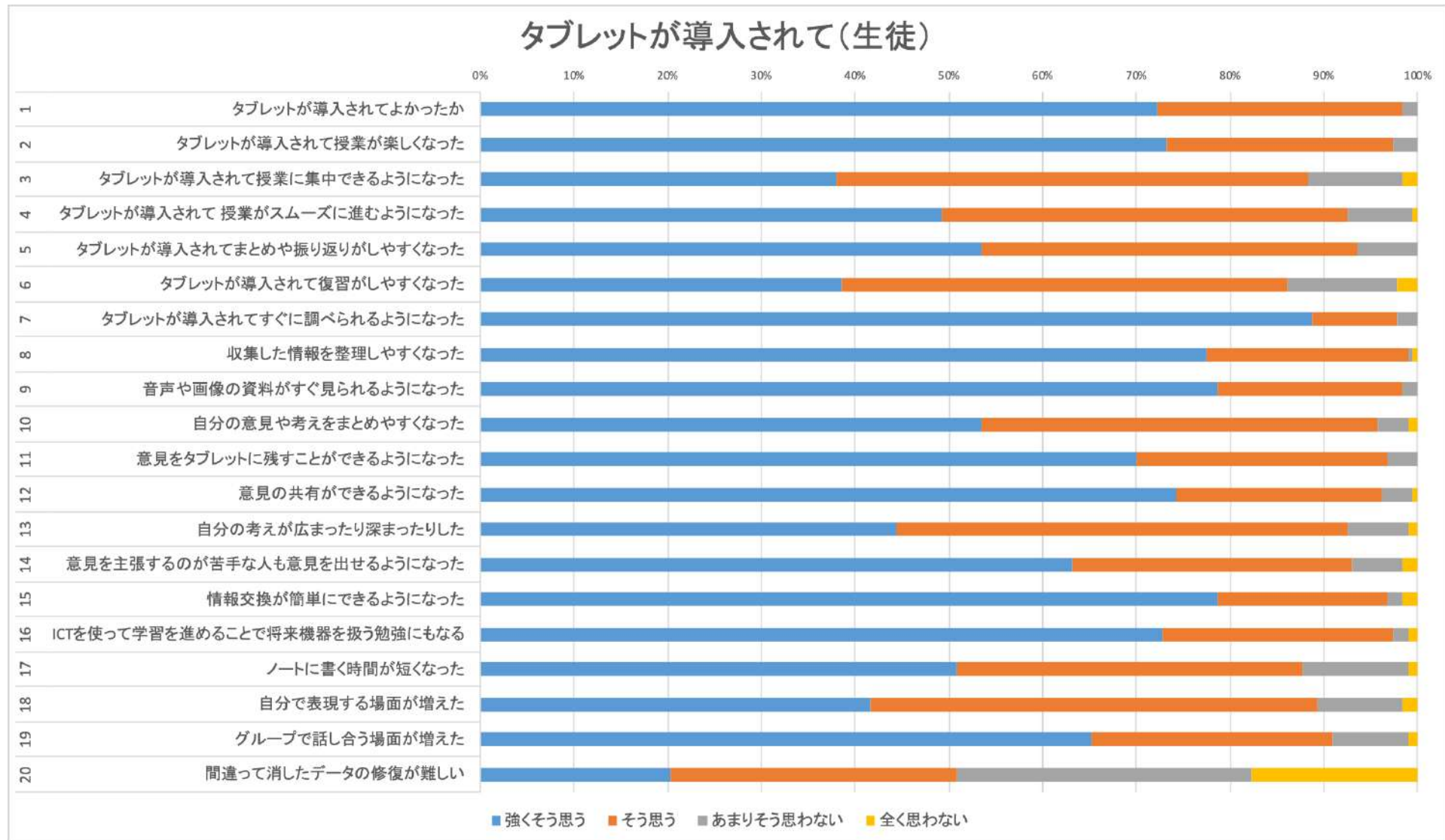
成果



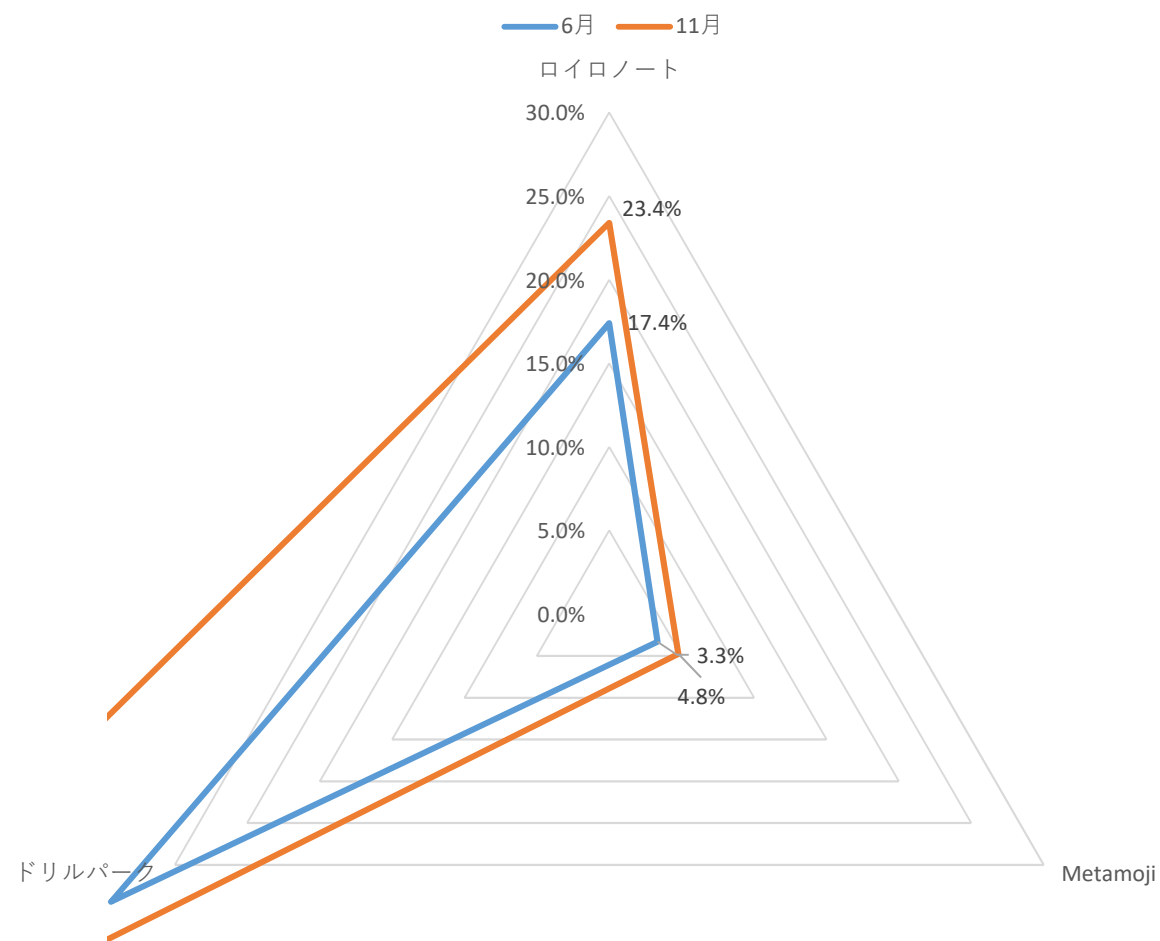
成果



生徒の変容 タブレットの先行導入



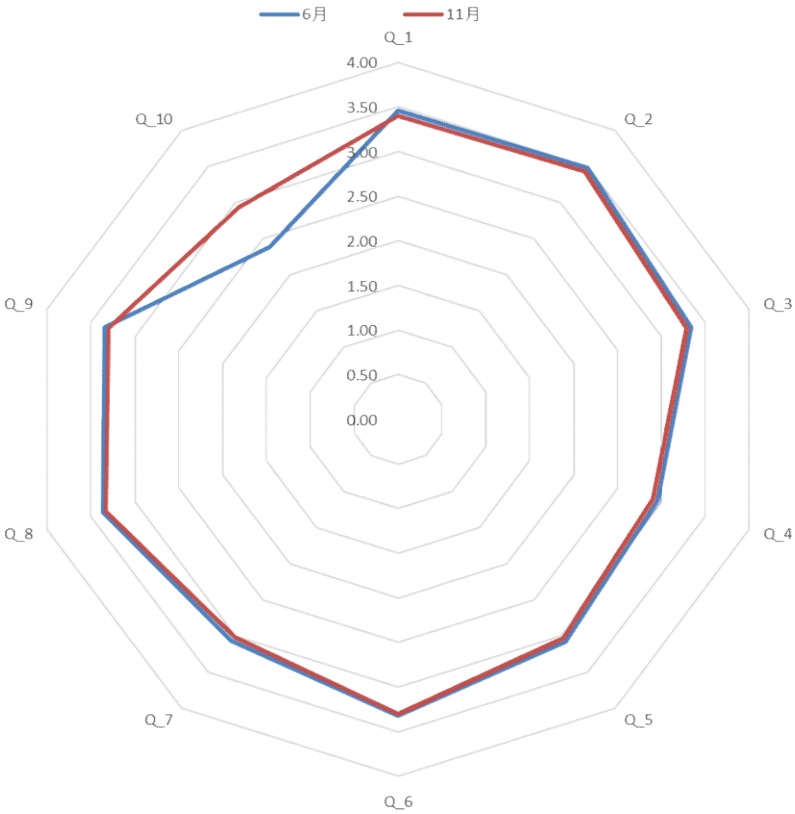
アプリ別平日ログイン率比較結果_小学校平均



全体(平均)

	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10
6月	3.45	3.48	3.34	2.96	3.08	3.32	3.07	3.37	3.35	2.38
11月	3.40	3.43	3.29	2.90	3.03	3.30	3.01	3.33	3.31	2.94

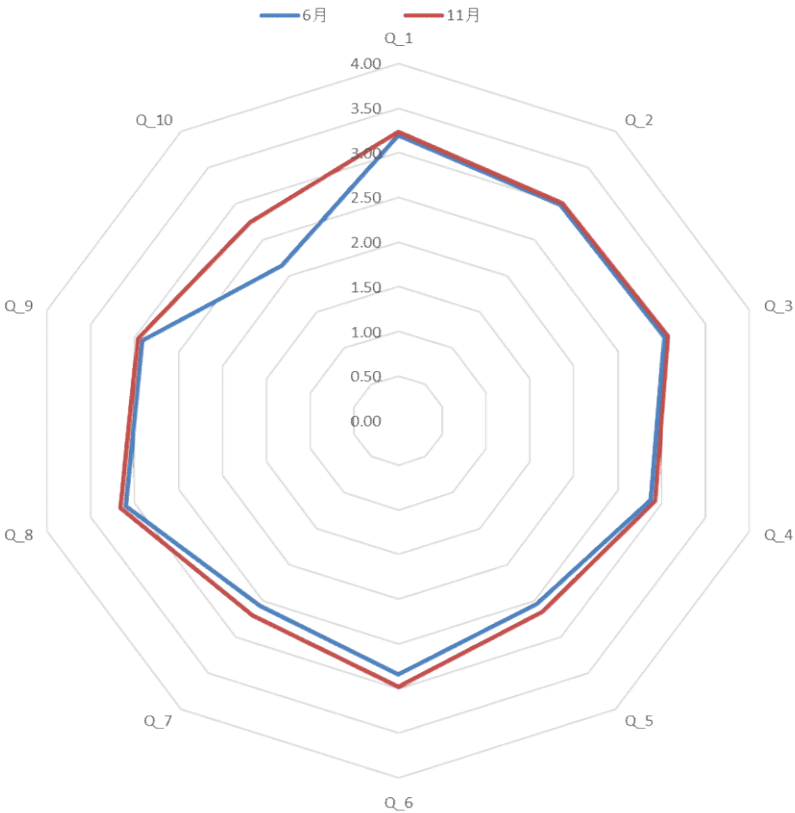
アンケート結果比較グラフ_小学生



- Q1 じゅぎょうにすすんでさんかしていますか。
Q2 じゅぎょうはわかりますか。
Q3 めあてをもって学習(がくしゅう)にとりくんでいますか。
Q4 自分の考えや意見(いけん)をすすんではっぴょうしていますか。
Q5 自分の考えや意見(いけん)をさいごまではっきり言うことができますか。
Q6 友だちと話し合いながら もんだいやかだいをかいけつしていますか。
Q7 自分の考えをせいりしたり、友だちの考えとくらべたりしながらはっぴょうしていますか。
Q8 おたがいのかんがえやがんばりをみとめあうことができますか。
Q9 学習(がくしゅう)したことをふりかえることができますか。
Q10 あなたはじゅぎょうでiPad(アイパッド)をどのくらい使っていますか。(ドリルはのぞく)

	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10
6月	3.20	2.99	3.03	2.87	2.54	2.84	2.56	3.10	2.92	2.15
11月	3.24	3.01	3.07	2.92	2.65	2.98	2.69	3.16	2.97	2.75

アンケート結果比較グラフ_教師



- Q1.子ども達は、授業に進んで参加していますか。
Q2.子ども達は、授業を理解していますか。
Q3.子ども達は、めあてをもって学習に取り組んでいますか。
Q4.子ども達は、自分の考えや意見を進んで発表していますか。
Q5.子ども達は、自分の考えや意見を最後まではっきり言うことができますか。
Q6.子ども達は、友だちと話し合いながら問題や課題を解決していますか。
Q7.子ども達は、自分の考えを整理したり、友だちの考えと比べたりしながら発表していますか。
Q8.子ども達は、お互いの考えやがんばりを認め合うことができますか。
Q9.子ども達は、学習したことを振り返ることができますか。
Q10.あなたの授業で、子ども達はiPad(アイパッド)をどのくらい使っていますか。(ドリルは除く)

タイムスケジュール（案）

研修名			日付・会場		
熊本市立小中学校「タブレット端末を活用した授業改善実践発表会」			2月26日（水）14：00～16：45 会場：熊本城ホール シビックホール		
時間	ステージ	時間	時間	主催者側の動き	備考
12：00	昼食		12：00	集合・昼食	
13：30	受付		13：30	受付開始 受付撤去	
14：00	開会 挨拶				本田室長 指導課長
14：05	熊本市が目指す授業と教育 ICT 整備	25			
14：30	児童生徒、先生による実践発表 ※舞台への入場・退場を含み、各学校15分。 ①児童生徒発表・先生発表15分 ②児童生徒発表・先生発表15分 ③児童生徒発表・先生発表15分 ④児童生徒発表・先生発表15分	60			城東小 楠小 楠中 北部中
15：30	休憩15分		15：30	ステージ設定変更	
15：45	パネルディスカッション（60分） 登壇者（平井・前田・校長・教諭・小・中学生） コーディネータ（中川）	60	15：45		
16：45	閉会・諸連絡		16：45	閉会	
17：00	会場撤去/搬出		17：00	会場撤去/搬出	

【関係者】

中川 一史（コーディネータ）

平井総一郎（パネリスト）

前田 康裕（パネリスト）

城東小学校 校長 佐藤俊幸（パネリスト）※カリキュラムマネジメントの視点

北部中学校 教諭 真金竜樹（パネリスト）※理科の授業の変容

市内小中学生 各1名

【参加者】

熊本市内小中学校教職員134校×3人まで（管理職、研究主任、希望者） 402人

近隣自治体の教育の情報化担当者 NTT ドコモ関係者